



協賛金の御願い

平成28年9月8日

AQUAPHOTOMICS: UNDERSTANDING WATER in BIOLOGY

2nd INTERNATIONAL SYMPOSIUM

第二回アクアフォトミクス国際シンポ
ジウム組織委員会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお
喜び申し上げます。平素は格別のご高
配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、平成28年11月26日
(土)～11月29日(火)に "Aquaphotomics:
Understanding Water in Biology, 2nd
International Symposium" 第二回アクア
フォトミクス国際シンポジウムを開催
する運びとなりました。

つきましては、本国際シンポジウム
の趣旨をご理解いただき、御社のご協
賛を賜りたく、
ここにお願ひ申し上げる次第でござい
ます。

なお、ご協賛の内容につきましては、
下記のとおりとさせていただきますの
で、なにとぞよろしくお願ひ申し上げ
ます。

敬具

記

大会趣旨

テーマ：アクアフォトミクスに関する国際シンポジウム

概要：

生体系における水の重要性は、いまだに十分に研究、理解されていない。近年、コンピューターサイエンス、データ解析、および新規測定技術の発展と共に、水は様々な分野の科学チームによって研究されてきている。この新しいトレンドは、特別な注目と努力に値するものであり、水に関する新たな発見をもたらしている。

2005年、神戸大学農学研究科生体計測工学研究室では、生体の持つあらゆる分子情報を水分子システムから網羅的に計測して分析する、アクアフォトミクス (Aquaphotomics) と呼ばれる新しいオミクス研究分野を提唱した。アクアフォトミクスでは、水分子スペクトルを holistic bio marker として利用し、系に存在する分子の状態を分子鏡として映し出すことができる。生体活動や生体システムの活動あるいは異常化には、水構造の変化を必ず伴うことが明らかになりつつあり、このことは、生体システムにおける水の重要性、ひいては水を主体とした観点から生体システムを理解し制御できる可能性を意味している。

2014年10月に開催されたThe 5th Kobe University Brussels European Center Symposium (in Brussels, Belgium)では、AQUAPHOTOMICS: UNDERSTANDING WATER in BIOLOGYのセッションが設けられ、日本、ノルウェイ、ブルガリア、オーストリア、イタリア、アイルランドなど11カ国の研究者が来場し、生物学、ナノテクノロジー、分光学、食品科学など幅広い研究分野における講演が行われた。このシンポジウムを機にアクアフォトミクス関連の共同研究やプロジェクトが大きく進展した。例えば、Trakia大学(ブルガリア)における新規EUプロジェクト Erasmus+Programme(2015-2020)の採択、Horizon2020:Future and Emerging Technologies Aquaphotomics-a radically new scientific platform for bio-and food technologyへの共同出願等があり、申請者とシンポジウム関連の研究者との交流、共同研究による共著論文も多数となっている。(2015-16年、16件)

そして今年の11月26～29日に、第二回アクアフォトミクス国際シンポジウムを神戸大学において開催する運びとなった。

組織委員長のツェンコヴァ教授は、アクアフォトミクスの研究領域の権威として、国際的に同分野を牽引する立場となっており、本シンポジウムにおいては、同研究分野の最新の研究成果を紹介するとともに、活発な議論による情報交換を通じて、研究のさらなる発展と新たな枠組みによる共同研究の推進を図ることを目的としている。

本シンポジウムでの主な招待講演者は、ワシントン大学教授であり国際学会“Water in Biology, Chemistry and Physics”会長Gerald Polack氏、慶応大学医学部薬理学教室教授安井正人氏、アクアフォトミクスの提唱者の神戸大学教授のツェンコヴァ ルミアナ教授、同じく神戸大学教授の田中丸治哉氏である。一般講演、ポスターセッションの他、企業による展示及びプレゼンテーションの機会も設けている。また、アクアフォトミクスに基づいたアプリケーションとスペクトルデータ解析手法およびソフトウェアについての講義から成るアクアフォトミクスコースの開催を予定している。コースは一日間で無料とする予定である。参加者は、日本40名、外国10名を予定している。

現代の多分野にまたがる科学および技術において、水の役割と働きを理解することは極めて重要である。そこから、新しい水計測デバイスや、計測技術に関するハードウェアおよびソフトウェアの発展に繋がる新しい展望が開ける。水構造変化を測定する新しい手法や装置は、疾患の診断や、その理解、予防に直結する。in-vivoバイオモニタリングにより得られるスペクトルデータのビックデータを解析、運用する新しい産業が、近いうちに食品の品質評価やバイオ技術に登場すると予想される。本国際シンポジウムでは、バイオ、医療、製剤、食品、農業、林業、水産業、エネルギー、化学、材料、土木、建築、資源、環境、気象、地球、宇宙、等々、様々な分野における水分子システムの計測と分析を軸に、データ解析に必要なハードウェアとソフトウェア、及びその周辺領域である水処理技術や流体力学も含めて、発表と協賛を広く募集しています。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

協賛金額と特典

	10分間の 企業講演	1件のポスター 発表（宣伝も 可）	A4、1ページの広告 学会当日の配布資料 および予稿集(USB)へ の掲載となります	資料の展示配 布	2名の参加費免 除
300,000 円	○	○	○	○	○
200,000 円	X	○	○	○	○
100,000 円	X	X	○	○	○

※ランチョンセミナーの開催も歓迎いたします。ご相談ください。

※講演およびポスター発表の言語は、日・英どちらでも結構です。スライドおよび展示資料については、できるだけ英語をご使用ください。

納入方法

口座名：三井住友銀行 六甲支店（421）
AQUAPHOTOMICS
口座番号：4519073

納入期限

平成28年10月30日

問い合わせ先

小川 雄一 京都大学 農学研究科准教授
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
Email :ogawayu@kais.kyoto-u.ac.jp
phone : 075-753-6169 or 9546

Roumiana Tsenkova
神戸大学 農学研究科教授
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
Email : rtsen@kobe-u.ac.jp
phone : 078-803-5911

国際シンポジウム概要

会の正式名称 和文名：第二回アクアフォトミクス国際シンポジウム
英文名：Aquaphotomics: Understanding Water in Biology,
2nd International Symposium

主催 第二回アクアフォトミクス国際シンポジウム組織委員会
神戸大学農学研究科

協賛 日本分光学会、農業食料工学会、近赤外研究会、
農業施設学会、日本農芸化学会、日本機能水学会

会期 平成28年11月26日(土)～11月29日(火)

会場 11月26日(土)～11月28日(月)
(会場名) 神戸大学 百年記念館 (六甲ホール)
(住所) 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
11月29日(火)：高野山ツアー

ウェブ www.aquaphotomics.com

